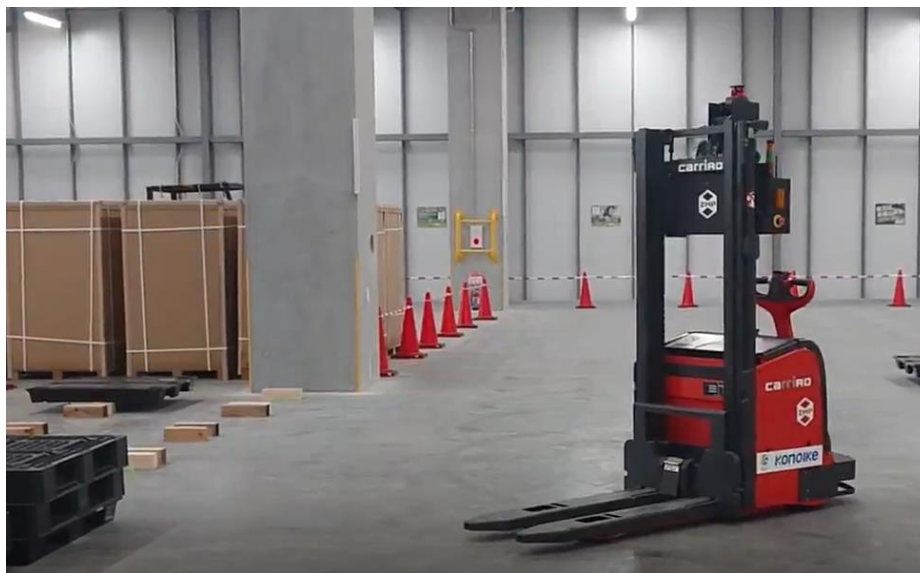




報道関係各位

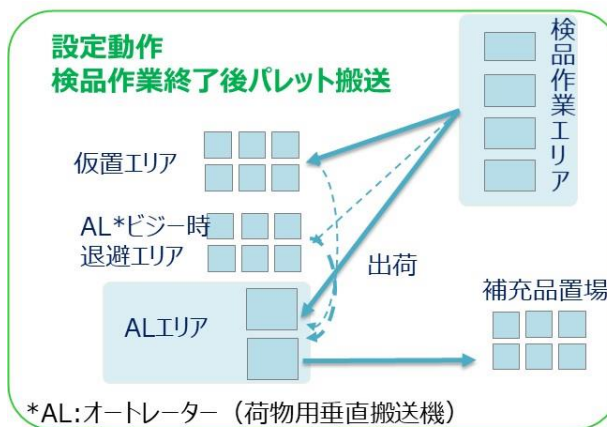
2021年3月4日
株式会社 ZMP

無人フォークリフト CarriRo® Fork、鴻池運輸が報道陣に公開 —採用の決め手は導入・操作の容易さ。今後垂直搬送機と連携させ、現場へ投入—



株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒)が販売している無人フォークリフト CarriRo® Fork(ウォーキータイプ)は、鴻池運輸株式会社(大阪市中央区、代表取締役兼社長執行役員 鴻池忠彦、以下、鴻池運輸)において、2020年5月より、導入に向けた実験を継続実施されてきましたが、3月3日、鴻池技術研究所イノベーションセンター(東京都品川区、以下、技研 IC)内の物流現場を再現した実験場で、これまでの実験で調整を重ねてきた同機の動作の様子が、報道陣に公開されました。

CarriRo Fork は現在、ピッキング終了後の検品を完了させ、出荷できるパレットを垂直搬送機に載せて出荷するプロセスを当施設で再現しています。今後、鴻池運輸では導入現場での環境構築や業務構築、動作精度・速度、安全性、人や他の装置との共存の可能性について引き続き検証及び確認を行ったうえで、現場への導入を進めます。





鴻池運輸 技研 IC では、CarriRo Fork の採用の理由として「CarriRo Fork は導入・操作が容易であること」「ZMP の開発や対応の速さ」、そして「ZMP の自動運転技術の今後の応用や発展」をあげられています。

また、ZMP では動作間のさらなるスピードアップ、現場の作業員でも可能な簡便な走行ルートの設定や修正の機能、そしてパレット認識機能「ForkEye」を活用したトラックの自動での積み下ろしの実用化に向けて、鴻池運輸をはじめ物流各社と共同で取り組みを行う予定です。

【無人フォークリフト CarriRo® Fork について】

無人フォークリフト CarriRo Fork は、ZMP がこれまで自動運転開発で培ってきた、自動運転技術を活用して開発された製品です。フォークリフトのベース車両には、Linde Material Handling 社製の機体を使用しています。フォークの自動運転には、「レーザー誘導型」の方式を採用しており、動作精度±10～20mm を実現しています。これにより、物流倉庫や工場内の搬送作業のパレット搬送を自動化、省人化することが可能になります。簡単なセットアップで作業エリアの事前マッピングから運用開始まで数日で実現できることが特徴で、喫緊の課題となっている労働力不足を軽減し、社会課題の解決に貢献します。

【CarriRo Fork 製品ページ】

<https://www.zmp.co.jp/carriro/carriro-fork>

【CarriRo Fork 価格】

CarriRo Fork (ウォーカータイプ): 5年リース 月額 22.6 万円 (税別)

CarriRo Fork (リーチタイプ) : 5年リース 月額 33.8 万円 (税別)

※買取も可能です。また価格は今後予告なく変更となる可能性があります。

【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP キャリロ事業部

TEL: 03-5844-6211 / FAX: 03-5802-6908 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<https://www.zmp.co.jp/>

本社: 東京都文京区

代表取締役社長: 谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ヒトの移動を担う『自動運転車両 RoboCar®シリーズ』、②モノの移動を担う『物流ロボット CarriRo®シリーズ』、③『低速自動運転ライフロボットシリーズ』を活用したサービス、また④それらを管理する『ロボットクラウドシステム ROBO-HI®』など、ロボット・自動運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

日本初の公道走行を実現した DeliRo®、佃・月島でサービス開始した RakuRo®は、「ロボットを社会インフラへ」を目指し、戦略的パートナーを募集中です。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。